

# ひがしくるめ

発行/東久留米市 編集/企画経営室秘書広報担当 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1 ☎042・470・7777(代) ホームページhttp://www.city.higashikurume.lg.jp/



昨年の総合防災訓練で行われた一斉放水の様子

## 総合防災訓練

### 8月20日(木)に、南町小学校で

### 参加を

毎年8月30日～9月5日は、防災週間です。市では、防災週間に先立ち、8月20日(木)に防災関係機関やボランティア団体の皆さんと一緒に、震災発生を想定した「総合防災訓練」を実施します。訓練会場は南町小学校(南町三丁目)です。万一の災害に備え、ぜひご参加ください。

詳しくは防災防犯課防災防犯係 ☎470・7769へ。

阪神・淡路大震災から今年で14年が経過しました。震災後も大規模地震が全国各地で発生しており、首都圏においても現在、「東海地震」と「首都圏直下型地震」の二つについては、「いつ起きてもおかしくなく、複合して起こる可能性もある」と言われています。

また、集中豪雨や洪水の頻発によって、首都圏および日本各地で毎年のように風水害が発生しています。

万一の災害に備え、被害を最小限に食い止めるためにも「自らの身は、自ら守る。自分たちのまちは、自分たちで守る」という防災意識を持つ

ことが必要です。この訓練の中で、冷静な行動力を身に付け、防災関係機関等との連携を密接にして、地域の活動体制の強化を図りましょう。

今年度の訓練は、8月20日(木) 午前8時半～正午、南町小学校(南町3ノ2ノ23)を訓練会場として実施します。対象は、避難場所が南町小学校となっている南町一～四丁目の方も含みますが、この地域以外の方もぜひご参加ください。前日と当日に、防災無線の放送でご案内します。

また、午前10時半前後にヘリコプターが飛来します。騒音や風圧で迷惑をおかけいたしますが、訓練へのご理解をお願いいたします。

なお、災害が発生した場合や、その恐れがある場合は、訓練を中止します。

#### 訓練の想定

1 東海地震にかかる予知対応型  
気象庁からの異常データ報

◆緊急給水訓練Ⅱ避難者への水の供給をします  
◆炊き出し訓練Ⅱ非常食糧

#### 訓練の内容

◆避難誘導訓練Ⅱ対象地域の自治会ごとに南町小学校まで避難します。また、学童保育所の児童を同校まで誘導します  
◆緊急道路啓開訓練Ⅱ不通となった緊急輸送用道路の障害物を取り除き、通行を確保します  
◆初期消火訓練Ⅱ初期消火失敗を想定し、屋内消火栓による消火を行います  
◆一斉放水Ⅱ延焼防止のため、一斉放水を行います

◆緊急物資輸送訓練Ⅱ避難所での生活に必要な救援物資を輸送する訓練です  
◆救出・救護訓練Ⅱ倒壊建物や高層建物に取り残された負傷者を、警察犬・ヘリコプター等を使って救出し、医療救護所で手当てをします  
◆初期消火訓練Ⅱバケツリレーで初期消火を行います  
◆建物火災消火訓練Ⅱ初期消火失敗を想定し、屋内消火栓による消火を行います  
◆一斉放水Ⅱ延焼防止のため、一斉放水を行います

◆応急復旧訓練Ⅱ電力・ガス・電話の応急復旧訓練をします  
◆緊急物資輸送訓練Ⅱ避難所での生活に必要な救援物資を輸送する訓練です  
◆救出・救護訓練Ⅱ倒壊建物や高層建物に取り残された負傷者を、警察犬・ヘリコプター等を使って救出し、医療救護所で手当てをします  
◆初期消火訓練Ⅱバケツリレーで初期消火を行います  
◆建物火災消火訓練Ⅱ初期消火失敗を想定し、屋内消火栓による消火を行います  
◆一斉放水Ⅱ延焼防止のため、一斉放水を行います

◆避難誘導訓練Ⅱ対象地域の自治会ごとに南町小学校まで避難します。また、学童保育所の児童を同校まで誘導します  
◆緊急道路啓開訓練Ⅱ不通となった緊急輸送用道路の障害物を取り除き、通行を確保します  
◆初期消火訓練Ⅱ初期消火失敗を想定し、屋内消火栓による消火を行います  
◆一斉放水Ⅱ延焼防止のため、一斉放水を行います

◆避難誘導訓練Ⅱ対象地域の自治会ごとに南町小学校まで避難します。また、学童保育所の児童を同校まで誘導します  
◆緊急道路啓開訓練Ⅱ不通となった緊急輸送用道路の障害物を取り除き、通行を確保します  
◆初期消火訓練Ⅱ初期消火失敗を想定し、屋内消火栓による消火を行います  
◆一斉放水Ⅱ延焼防止のため、一斉放水を行います

## 災害に備えて、家族会議を!

もしものとき家族がバラバラでは困ります。次の例のようなテーマで家族会議を開いて、連絡方法や避難場所などを確認しておきましょう。

- ①家族の役割  
火の始末をする係、電源(ブレーカー)やガスの元栓を止める係、高齢者の安全確保をする係、持ち出す荷物の分担など。
- ②消火用具について  
消火器や三角バケツの置き場所の確認と使い方。
- ③家族間の連絡方法  
電話、ファクス、玄関の張り紙などを使い、安否の情報を伝えるように話し合ひましょう。親せきや知人を連絡中継地にしたたり、伝言センターを利用する方法もあります。
- ④避難場所の確認  
自宅からのいっつき避難場所や避難所を家族全員で確認し、落ち合える場所を決めましょう。
- ⑤避難経路の安全確認  
いっつき避難場所や避難所へのルートを確認。また、実際に歩いて避難経路の安全を確認しておきましょう。
- ⑥非常持ち出し品のチェック  
非常食や飲料水などが古くなっていないかチェックしましょう。
- ⑦家具転倒防止対策や整理整頓  
家具は転倒防止がしてありますか。整理整頓の大切さも話し合ひましょう。
- ⑧乳幼児・病人などの避難方法  
身軽に動けない家族を避難させる方法を考えましょう。
- ⑨地震情報の入手方法  
携帯ラジオは必需品。うわさやデマに惑わされないように話し合っておきましょう。

#### 訓練参加機関・団体

- 東久留米市、東久留米市消防本部、東久留米市消防団、近隣自治体、陸上自衛隊第一後方支援連隊、警視庁田無警察署、東京消防庁、東久留米郵便局、東京ガス株式会社、東京電力株式会社、株式会社NTT東日本、東京都トラック協会、東久留米市建設業協会、東久留米医師会、東久留米市歯科医師会、自治会、自主防災組織、東久留米市交通安全協会、東久留米市防犯協会、東久留米市赤十字奉仕団、東久留米市消防防犯協会、東久留米市視覚覚醒研究会、東久留米CPR友の会、NPO法人日本救難バイク協会東京多摩支部、東久留米市接骨師会、東久留米市被災建築物応急危険度判定連絡会、東久留米建築設計協会、防災まちづくりの会、東久留米、東久留米市獣医師会、東久留米防火女性会、東久留米酒販組合、東京都LPガス協会東久留米支部、東久留米市身体障害者福祉協会、東久留米市ろうあ協会、東久留米市社会福祉協議会、東久留米国際友好クラブ、その他防災関係機関

(順不同)

## 「暮らしのしおり」へ 広告を掲載しませんか

市内に転入手続きをされた方へ配布している、市役所の業務などを紹介した「暮らしのしおり」に広告を掲載してみませんか。

【基準】公共性と品位を損なわないもの。政治・宗教活動、意見広告と個人宣伝などは除きます

【発行部数】約4000部

【掲載位置】同しおり(A4判、2色刷り)巻末

【掲載料金】全ページ16万4000円▽2分の1ページ13万2000円▽4分の1ページ1万6000円▽8分の1ページ8000円

※広告の版下は、市が指定する方法により、広告主の負担で作成していただきます。

◆企画調整課秘書広報担当メールアドレス  
hishokoho@city.higashikurume.lg.jp

- 《今号の主な内容》
- ・児童扶養手当等の申請はお済みですか
  - ・環境美化マナーアップキャンペーンを実施
  - ・子育て支援施設を紹介いたします
  - ・中央図書館「開館30周年企画展」を開催
- 2面 3面 4・5面 7面